				1	•
登録番号	千葉県 第 2	710015号	氏名又は名称	本多一統	
作成日	令和6年3月/3日	変更日 1:	// 12	: // (3:	//

別表	4 (全 枚	の 枚目) 遊漁船	の総トン	数又は長さ	、定員及び通	信設備等
整理	遊漁船の 名称	船舶番号、漁船登録 番号等	総トン数	長さ	旅客定員又は 利用定員	業務形態 主たる業務:◎
番号		航行	その他全て:〇			
3		遊漁船の	使用状況((該当に〇)		*
		遊漁船の記載状況 (該当に〇) 船舶の所有状況 (該当に	の状 (該当)	況	枚命設備※1 の状況 (該当に○)	
		○) CB-80206 千葉県 第232 ~44763号	1712	14.97 m	30人	
	第三		沿海・() 沿海・(O) 遠洋、近海 使用と兼用	(O) 船釣り () 瀬渡し※2 () その他
	第三新始队	(O) 単独記載・ () 重複記載		是電話 用信)改良型教命い)EPIRB(非常 が置等発信装置))AIS(船舶自	
		(O) 自己所有船舶。 () 他者所有船舶	() 70	7105	織別装置)) その他)	
		()遊漁船専用・()	トン (沿海・(漁船と兼用	m) 沿海・(引・() 他	人) 遠洋、近海 使用と兼用	() 船釣り () 瀬渡し※2 () その他 ()
		() 単独記載・() 重 複記載	()衛星	主电品 ()改良型救命い ご)EPIRB(非常 位置等発信装置)	
		()自己所有船舶。	() ϵo	, ()AIS(船舶自 強別装置))その他	
重複いる	記載※3して 場合の事由	() 多客期にチャー。() その他 (ターするた	め)

^{※1} 通信設備及び救命設備については、船の種類や航行区域等に応じて国土交通省が定める要件に適合するものであること。

^{※2} 利用者を特定の場所に下船させて水産動植物を採捕させる業態を指し、磯渡し、筏渡し、防波堤渡し、 沖で干出する場所での潮干狩り等が該当(法令等で立入禁止の場所に渡すことはできない)。

^{※3} 他の事業者の遊漁船として登録簿に記載されている船舶を当該事業者の遊漁船としても記載されているもの。

登録番号	十千葉県 第 2 章	310015 号	氏名又は名称	本多一統	
作成日	令和6年3月13日	変更日 1:	// 2:	/ / 13:	///

別表6 安全の確保のため船長及び業務主任者が遵守すべき事項

航行中及び利用者が水産動植物を採捕している間、船長及び業務主任者は以下のとおり行動します。

〇一般的事項

- ・出航から帰航するまでの間は、飲酒はしません。また、酒気を帯びて漁場に案内しません。
- ・航行中、波の影響により船体が動揺するときは、波の状況について適切な見張りを行 うとともに、波に対する進路の変更を行い、かつ、安全な速力まで十分な減速を行う ことにより、船体動揺の軽減に努めます。
- ・航行中、波の影響により船体が動揺して危険が予想されるときは、利用者に対して動 揺が比較的小さい船体中央より後方の部分に乗船するよう指導します
- ・乗船中は、船室内にいる場合を除き、救命胴衣(船に備え付けられ、又は持ち込まれた、船舶の種類や航行区域に応じて国土交通省が定める要件に適合するものをいいます。以下同じ。)を着用します。
- 乗船中は、船室内にいる場合を除き、利用者に常に救命胴衣を着用させます。
- ・12歳未満の小児には、乗船中は、常に救命胴衣を着用させます。
- ・利用者の乗降場所から漁場又は漁場から漁場までの間における岩場、浅瀬、河川域、 防波堤、定置網、養殖施設等を調査し、危険性の評価を行い、特に危険と認められる 場所について、別添にとりまとめ、安全に航行できる航路、避険線等の設定を行いま す。
- ・航行中はGPSプロッター等を利用して自船の位置を確認し、上記で設定した航路の航行、避険線に基づいた安全な航行を行います。
- ・随時、気象や海象等に関する情報収集を行い、気象又は海象等の状況の悪化等、利用者の安全の確保のために必要と判断される場合は、船室内においても利用者に救命胴衣を着用させます。
- ・その他(船舶設備に要高が見られた際は直ちに採業を中止し、停泊地へ帰港に対。)
- ○船釣りをする場合
- ・利用者を案内している間は、船長及び業務主任者は自ら釣りをしません。
- ○瀬渡しをする場合
- ・利用者の安全確認のため、渡した磯等を定期的に巡回します。
- ・磯等において、利用者には常に国土交通省が定める要件と同等以上の性能を有する救命胴衣を着用させます。
- ・磯等において採捕を終了した利用者を収容し帰航する際、利用者が遊漁船に乗船していることを確認します。
- ○体験漁業(観光定置、観光底びき等)をする場合
- ・利用者が網揚げ等をしている間、利用者に危険が生じないよう安全に操業します。

登録番号	千葉県 第2	310015	号	氏名又は名称	本多	一种	-		
作成日	令和6年 3月 13日	変更日	1:	//	2:	/ /	3:	/ .	

別表8 気象又は海象等の状況が悪化した場合の対処

気象又は海象等の 状況が悪化した場 合の避難する場所

出航した港等に帰航できない場合は、以下の場所に避難をします。

案内する漁場の位置	避難する港
干袋具 干倉沖	干倉漁港
1 三見神	32月、大大崎遊遊
" PB 11 21P	悟川遊港
"精神	榜浦 迈洛

上記の他、帰航を判断した場所から最も近く安全に避難できる場所に避難します。

滩	頼渡し(磯、筏、防波堤等渡し)の業務を行う場合	
磯等と遊漁船との 間の連絡方法※ (該当に○)	()携帯電話()衛星電話()利用者に渡した発煙筒()その他()
磯等に遊漁船の旅客定員を超えて利用者を渡す業務の形態の場合にあっては、緊急的に利用者を収容し帰航させる方法		
津波警報、注意報が発令された場合の対応		

- ※連絡手段の通信設備については、船舶の種類や航行区域等に応じて国土交通省が定める 要件に適合するもの。
- ※気象又は海象等が悪化した場合は、必要な措置をとった上で、速やかに連絡責任者に連絡する。

登録番号	子 千葉県 第 シ	310015	号	氏名又は名	称	本多	一秋		71	
作成日	令和6年 3月13日	変更日	1:	//	2:		/	3:		/

別表 10 情報を収集すべき事項

に必要な情報

(1) 利用者の安全の確保 出航地における波高、風速、視程

出航中止を判断する団体の出航判断等に関する情報

水路通報、気象・津波・海上警報等の情報

乗船する利用者数

(12歳未満の小児が含まれる場合は、その人数)

法に基づく協議会において協議が調った事項や海面利用協 議会等で定められた事項など、地域における安全確保に関す る情報

立入禁止区域に関する情報

(2) 漁場の安定的な利用 関係の確保に必要な情 報

法第16条に基づき利用者に周知する必要がある「案内する漁 場における水産動植物の採捕に関する制限又は禁止及び漁 場の使用に関する制限の内容」について、当該漁場を管轄し ている都道府県知事が提供している情報

漁場利用協定や漁場慣行等について、案内する漁場を管轄す る都道府県に設置されている海面利用協議会が提供してい る情報

法に基づく協議会において協議が調った事項や海面利用協 議会等で定められた事項など、地域における漁場の安定利用 に関する情報

登録番号	計千葉県 第 ユ	310015 \$	号	氏名又は名称	7	下多	一般			•
作成日	令和6年 3月13日	変更日 1:		//	2:	/	/	3:	/	/

別表 11 安全の確保のため周知すべき内容及び方法

別衣 11 女主の唯体	りため周知りへら内谷及び万法
周知の方法 (該当に〇)	(O) 遊漁船に周知内容を掲示する。 () 遊漁船の乗船前に書面を配布、回覧する。 ()営業所のモニター又はタブレット端末等の電子機器で視聴してもらう(ウェブサイトに周知事項をまとめた動画等の視聴等を含む)。
周知する内容	○一般的事項 ・出航から帰航するまでの間、船長及び業務主任者の指示に 従うこと
	・遊漁船の航行中はむやみに立ち歩かないこと ・航行中、波の影響により船体が動揺することがあるときは、動揺が比較的小さい船体中央より後方の部分に乗船すること ・天候急変時の帰航決定について船長の指示に従うこと ・救命胴衣等の救命設備の保管場所及び使用方法 ・落水者の船上への引揚げを補助するはしご等の保管場所及び使用 方法
	・落水者の発生等、非常時の場合における他の利用者への救助協力 ・乗船中は船室内にいる場合を除き、救命胴衣(船に備え付けられ 、又は持ち込まれた、船の種類や航行区域に応じて国土交通省が 定める要件に適合するもの)を着用すること ・その他(東西中は前長、茶物を行者は、技術制入と煮用了3×1)
	○瀬渡しの場合 ・瀬渡し中及び磯等の上においては国土交通省が定める要件と同等 以上の性能を有する救命胴衣を着用すること ・磯等で緊急事態が発生した場合における遊漁船との連絡方法 ・その他(
漁場において口頭で 説明する。	○一般的事項 ・案内する漁場において注意すべき事項 (自由記載(必須)要用中は火水がたの指示に従って下では、たいは火水が持ち物ででは。何りはお砂かを介中は立ち帯のでででし、 年間がありばるいない。 ・その他(・その他(・その他(・ でありません・ でありません・ ・ できません・ ・ でありませんりません・ ・ でありません・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	○瀬渡しの場合・磯等からの帰航時間・磯等で天候が急変した場合における避難場所・安全管理の手法(定期巡回、携帯電話等での連絡)・船から磯、磯から船に渡る際に注意すべき事項(自由記載(必須)・その他(